

施策番号	1701		
施策名	市民の健康づくり活動の推進		
概要	すべての市民が、生涯を通じて運動、栄養、休養、禁煙、口腔ケアといった心身の健康づくりに取り組むため、行政と保健医療関係機関、地域、企業が連携して環境整備を進める。		
担当局・部室	保健福祉局・健康長寿のまち・京都推進室	共管局・部室	障害保健福祉推進室
上位政策	17 保健衛生・医療		
施策に関係する主な分野別計画等	京都市民健康づくりプラン（第2次）、京都市たばこ対策行動指針（第2次）、京都市口腔保健推進実施計画、健康長寿のまち・京都食育推進プラン、きょういのちほっとプラン—京都市自殺総合対策推進計画—（改定）		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		28年度	29年度	30年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合(%)	a	a	53.0	53.5	51.8	103.3%	a	1.00
2	自殺による死亡者数(人)	a	a	187	203	220	107.7%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		29年度	30年度	30年度回答						評価
				そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	
1	正しい情報を基に、健康づくりに取り組むひとが増えている。	b	b	24 5.5%	196 45.1%	153 35.2%	39 9.0%	23 5.3%	435	b
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
		b	b	市民生活実感調査総合評価						b

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 健康づくりの推進に当たっては、市民一人一人の意識を高める必要があるため、市民生活実感調査を重視する。						29年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						28年度	B
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		30年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		29年度 決算額	30年度 予算額		
1	保健事業（国保会計）	1,191,660	1,228,254	良い	保健福祉局
2	後期高齢者健康診査	408,867	393,050	良い	保健福祉局
3	はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業	12,591	13,093	普通	保健福祉局
4	京都市民健康づくりプラン普及及び推進事業	19,463	6,810	良い	保健福祉局
5	難病対策総合推進事業	98,824	74,461	悪い	保健福祉局
6	造血幹細胞移植推進事業	7,928	8,900	良い	保健福祉局
7	健康づくりサポート事業	215,181	215,619	良い	保健福祉局
8	生活保護受給者等健康診査	14,253	14,878	良い	保健福祉局
9	医師会・歯科医師会健康づくり事業補助金	19,747	21,741	普通	保健福祉局
10	高齢者筋力トレーニング普及推進ボランティア養成講座	12,620	12,280	良い	保健福祉局
11	高齢者筋力トレーニング普及推進事業	29,848	33,139	良い	保健福祉局
12	地域献血会事業	21,795	16,652	良い	保健福祉局
13	家族介護者向け医療的ケア・口腔ケアの実践研修事業	4,975	5,143	悪い	保健福祉局
14	熱中症予防啓発事業	25,348	25,640	良い	保健福祉局
15	お風呂屋さん再発見事業	3,409	3,400	良い	保健福祉局
16	鉱泉源保護設備補修等補助金交付事業	5,791	7,343	良い	保健福祉局
17	環境衛生対策補助金	14,672	15,181	普通	保健福祉局
18	健康診査事業	38,695	40,278	普通	保健福祉局
19	生涯を通じた歯の健康づくり	48,750	50,482	普通	保健福祉局
20	お口の健康サポート事業	52,957	55,599	普通	保健福祉局
21	介護予防普及推進事業	17,793	17,843	普通	保健福祉局
22	がん対策	493,622	608,295	普通	保健福祉局
23	健康長寿のまち・京都推進プロジェクト	83,869	68,804	良い	保健福祉局
24	食育推進事業	235,821	199,025	良い	保健福祉局
25	後期高齢者歯科健康診査	0	22,028	—	保健福祉局
26	難病対策総合推進事業（センター事業）	0	36,629	—	保健福祉局
27	乳がん検診マンモグラフィ検診車更新	27	27	—	保健福祉局
28	京都市ラクト健康・文化館	28	28	—	建設局

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・市民の健康寿命の更なる延伸を図り、平均寿命に近づけるため、平成28年5月に幅広い市民団体、関係機関等の参画により発足した「健康長寿のまち・京都市民会議」と連携し、市民が健康づくり活動の達成感を得つつ、習慣化していくための仕組みづくりとして、活動の「見える化」を図る「健康ポイント事業」を実施するなど、市民が主体となる健康づくりの取組を推進していく。

施策名	1701	市民の健康づくり活動の推進				
-----	------	---------------	--	--	--	--

指標名	日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合 (%)					
-----	--	--	--	--	--	--

担当課	健康長寿企画課		連絡先	2 2 2 - 3 4 1 9	
-----	---------	--	-----	-----------------	--

1 指標の説明

特定健診において、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合

2 指標の意味

生活習慣の改善による健康づくりの成果を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市国民健康保険特定健康診査受診者実績から、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	53.0	53.5	0.5ポイント増	51.8	中長期目標を達成するために当該年度達成すべき数値	103.3%

	全国順位	中長期目標				備考	データ公表時期の関係から、平成28年度数値が最新値となる。
		数値	目標年次	達成度	根拠		
数値		52.8	29年度	101.3%	京都市民健康づくりプラン(第2次)に基づく目標値		

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：90%以上
b：85%以上～90%未満
c：80%以上～85%未満
d：75%以上～80%未満
e：75%未満

6 基準説明

当該指標については、市民一人ひとりの健康づくりの取組による影響が大きいことから、目標達成度90%以上をa、以下5%刻みで基準を設定した。（24年度47.8%、25年度48.8%、26年度49.8%、27年度50.8%、28年度51.8%、29年度52.8%）

7 評価結果

28	29	30
a	a	a

指標名	自殺による死亡者数（人）					
-----	--------------	--	--	--	--	--

担当課	障害保健福祉推進室		連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1	
-----	-----------	--	-----	-----------------	--

1 指標の説明

当該年度京都市における自殺による死亡者数

2 指標の意味

市民のこころの健康状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市における年間自殺者数（1月～12月の年間統計値）
出典：厚生労働省人口動態統計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度
数値	187	203	16人増	220	平成33年度に200人以下とするために当該年度達成すべき数値	107.7%

	全国順位	中長期目標				備考	
		数値	目標年次	達成度	根拠		
数値		200以下	33年度	98.5%	京都市自殺総合対策推進計画（改定）		

5 評価基準

最新数値が、
a：目標値以下
前回数値と比較して
b：10人以上の減少
c：変わらず（±10人未満の増減）
d：10人以上20人未満の増加
e：20人以上の増加

6 基準説明

当該指標については、様々な社会的要因による影響が大きいため、目標値以下をaとし、以下、前年度との比較で10人刻みで基準を設定した。（平成28年度225人、平成29年度220人、平成30年度215人、平成31年度210人、平成32年度200人）

7 評価結果

28	29	30
a	a	a